

政策評価調書（個別票①-1）

【政策ごとの予算額等】

政策名	国際平和協力業務等の推進		評価方式	総合(実績)事業	番号	19
歳出予算額（千円）	20年度	21年度	22年度		23年度要求額	
（ 当 初 ）	461,630	486,202	475,152		442,065	
（ 補 正 後 ）	461,630	526,877	475,152			
前年度繰越額（千円）	0	0				
予備費使用額（千円）	0	0				
流用等増△減額（千円）	5	4,039				
歳出予算現額（千円）	461,635	530,916				
	<0>	<0>				
支出済歳出額（千円）	402,226	435,835				
翌年度繰越額（千円）	0	0				
不用額（千円）	59,409	95,081				
	<0>	<0>				
達成すべき目標及び 目標の達成度合いの 測定方法	<p>目標 国際連合を中心とした国際平和のための努力に積極的に寄与する。</p> <p>測定方法 国際平和協力業務に対する国連、現地政府等の評価 [肯定評価]</p>					
政策評価結果を受けて 改善すべき点	—					
評価結果の予算要求等 への反映状況	我が国の国際平和協力業務等は、国連、現地政府等から高い評価を得ている。その一方で、より積極的に要員の派遣を行うべきとの指摘もある。我が国としては、国際連合を中心とした国際平和のための努力に積極的に寄与するため、現在、国際平和協力法に基づき可能な限り要員の派遣を行うとともに、新規の派遣の可能性についても検討を行っている。					

政策評価調書（個別票①-2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名	国際平和協力業務等の推進					番号	19		政策評価結果等 による見直し額
	(千円)								
予 算 科 目									
整理番号	会計	組織/勘定	項	事項		22年度 当初予算額	23年度 要求額		
対応表に おいて● となっているもの	A	1	一般	国際平和協力本部	国際平和協力本部	国際平和協力業務の実施等に必要な経費	475,152	442,065	
	小計						475,152 の内数	442,065 の内数	
対応表に おいて◆ となっているもの									
	小計								
対応表に おいて○ となっているもの							<	>	<
							<	>	<
							<	>	<
	小計								
対応表に おいて◇ となっているもの							<	>	<
							<	>	<
							<	>	<
	小計								
合計						475,152 の内数	442,065 の内数		

政策評価調書（個別票①-3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名		国際平和協力業務等の推進			番号	19		
事務事業名	整理番号	予算額（千円）			見直し額（A） （B）+（C）-重複	うち政策評価結果の反映による見直し額（B）	うち執行状況の反映による見直し額（C）	政策評価結果又は執行状況の要求への反映内容
		22年度当初予算額	23年度要求額	増減				
該当なし								
合計								

政策評価調書(個別票②) (政策評価書要旨)

評価実施時期:平成22年 8月

担当部局名:国際平和協力本部事務局

<p>政策名</p>	<p>国際平和協力業務等の推進</p>			<p>番号</p>	<p>19</p>																	
<p>政策の概要</p>	<p>平成4年6月、国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(平成4年法律第79号。以下「国際平和協法力」という。)が制定され、国連平和維持活動への協力、人道的な国際救援活動への協力及び国際的な選挙監視活動への協力のほか、物資協力の制度が定められている。平成21年度においては、ゴラン高原、ネパール、スーダンとともに、新たにハイチ国際平和協力業務を実施した。またスリランカ被災民への物資協力業務を実施した。また、国際平和協力研究員による研究活動等を実施した。</p>																					
<p>政策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等</p>	<p>【評価結果の概要】</p> <p>(総合的評価) ゴラン高原、ネパール、スーダン国際平和協力業務とともに、平成21年度から実施したハイチ国際平和協力業務、スリランカ被災民に係る物資協力については、国連、現地政府等から高い評価を得ており、目標を達成することができた。また、国際平和協力研究員もそれぞれの研究活動等を通じて事務局の業務に貢献した。少人数ではあるものの、国際平和協力分野における人材育成に役立っていると考える。</p> <p>(必要性) 国際連合平和維持活動、人道的な国際救援活動及び国際的な選挙監視活動に対し適切かつ迅速な協力を行う必要がある。</p> <p>(効率性) 政策の性質上、数値化した定量的な分析はなじまないため記載不可。</p> <p>(有効性) ゴラン高原国際平和協力業務において、UNDOFの活動は、両国の和平交渉を下支えするとともに、中東地域における和平の問題にとっても大きな役割を果たしている。 ネパール国際平和協力業務において、UNMINの活動は、ネパール国内の安定、中国とインドに挟まれた要衝にあるネパール地域全体の安定させるために、大変重要な任務を遂行している。 スーダン国際平和協力業務において、UNMISの活動は、アフリカ全体のみならず我が国を含め国際の平和と安定のために、大変重要な任務を遂行している。</p> <p>(反映の方向性) 我が国の国際平和協力業務等は、国連、現地政府等から高い評価を得ている。その一方で、より積極的に要員の派遣を行うべきとの指摘もある。我が国としては、国際連合を中心とした国際平和のための努力に積極的に寄与するため、現在、国際平和協法力に基づき可能な限り要員の派遣を行うとともに、新規の派遣の可能性についても検討を行っている。</p> <p>【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】</p> <table border="1" data-bbox="363 1489 1481 1637"> <thead> <tr> <th rowspan="2">達成目標</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">目標値</th> <th rowspan="2">達成度</th> <th rowspan="2">達成目標・指標の設定根拠・考え方</th> </tr> <tr> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際平和協力業務等の推進</td> <td>肯定評価</td> <td>肯定評価</td> <td>肯定評価</td> <td>国際平和協力業務に対する国連、現地政府等の評価(肯定評価)</td> <td>達成できた</td> <td>政策の性質上、数値化した定量評価になじまないため、測定指標を肯定評価とした。</td> </tr> </tbody> </table>					達成目標	実績値			目標値	達成度	達成目標・指標の設定根拠・考え方	19年度	20年度	21年度	国際平和協力業務等の推進	肯定評価	肯定評価	肯定評価	国際平和協力業務に対する国連、現地政府等の評価(肯定評価)	達成できた	政策の性質上、数値化した定量評価になじまないため、測定指標を肯定評価とした。
達成目標	実績値			目標値	達成度		達成目標・指標の設定根拠・考え方															
	19年度	20年度	21年度																			
国際平和協力業務等の推進	肯定評価	肯定評価	肯定評価	国際平和協力業務に対する国連、現地政府等の評価(肯定評価)	達成できた	政策の性質上、数値化した定量評価になじまないため、測定指標を肯定評価とした。																
<p>関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)</p>	<p>施政方針演説等</p> <p>鳩山内閣総理大臣の談話</p>	<p>年月日</p> <p>平成22年1月15日</p>	<p>記載事項(抜粋)</p> <p>国際社会の平和と安定に尽力することは、我が国自身の国益にもかかわるものであり、我が国としても、引き続き、国際社会によるテロ対策の取組みに、積極的・主体的に貢献してまいります。</p>																			